

決算説明会

2025年3月期 第1四半期

ミネベアミツミ株式会社

2024年8月2日

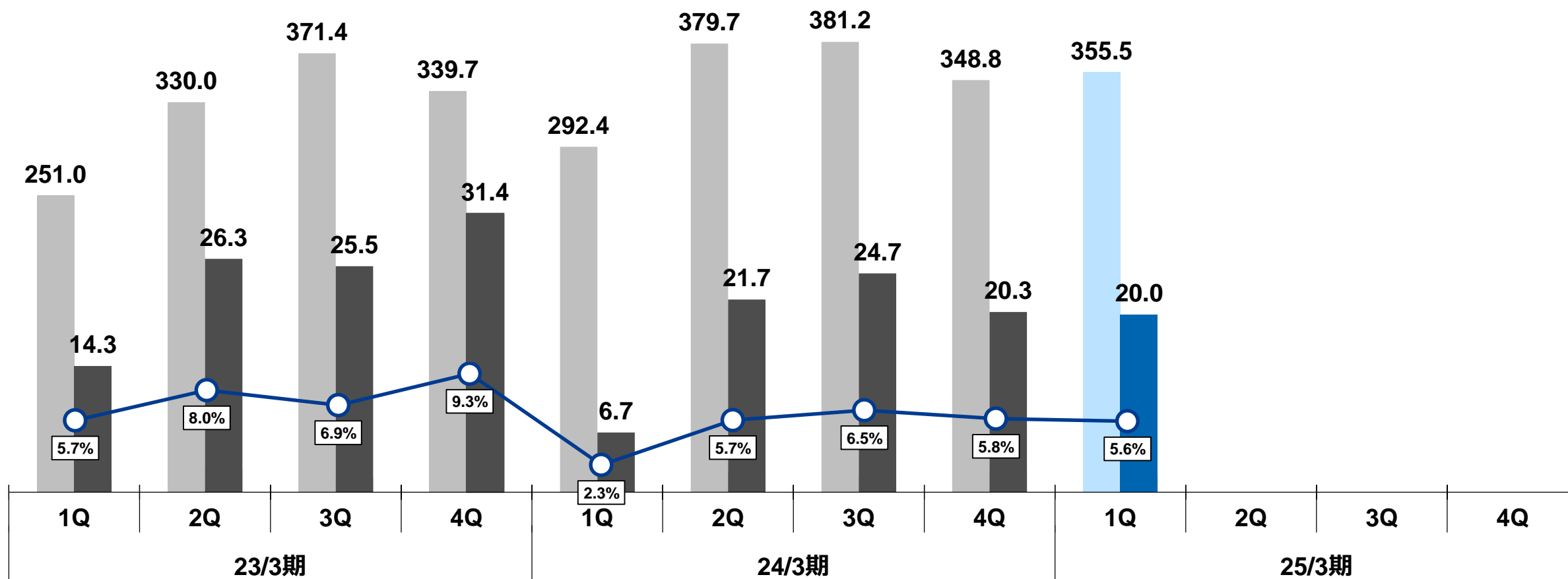
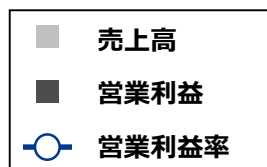
売上高、営業利益は1Qとして過去最高

(百万円)	2024年3月期		2025年3月期	前年同期比 伸び率	前四半期比 伸び率
	1Q	4Q	1Q		
売上高	292,370	348,803	355,454	+21.6%	+1.9%
営業利益	6,743	20,342	20,025	3.0倍	-1.6%
税引前利益	8,502	22,602	19,357	2.3倍	-14.4%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	4,109	18,327	13,936	3.4倍	-24.0%
基本的1株当たり 四半期利益 (円)	10.06	45.32	34.46	3.4倍	-24.0%

為替レート	2024年3月期 1Q	2024年3月期 4Q	2025年3月期 1Q
US\$	134.92円	146.76円	153.14円
ユーロ	146.23円	159.48円	165.45円
タイバーツ	3.93円	4.15円	4.21円
人民元	19.46円	20.43円	21.16円

売上高、営業利益、営業利益率

(10億円)



1Q実績 期初予想からの差異

(10億円)

売上高

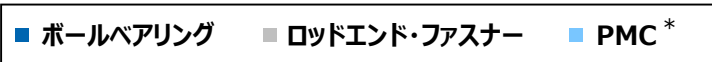


営業利益

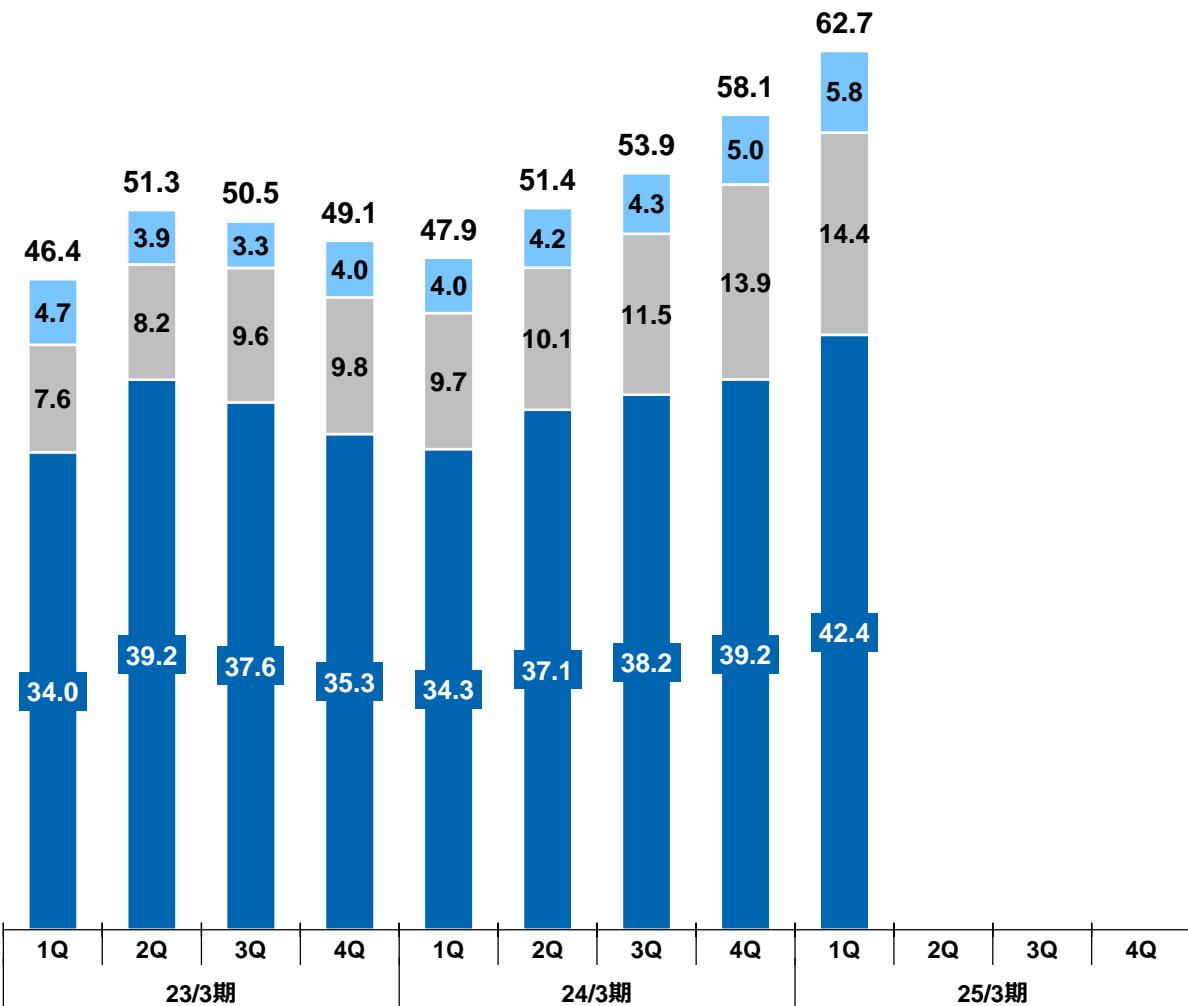


プレジジョンテクノロジーズ セグメント (PT)

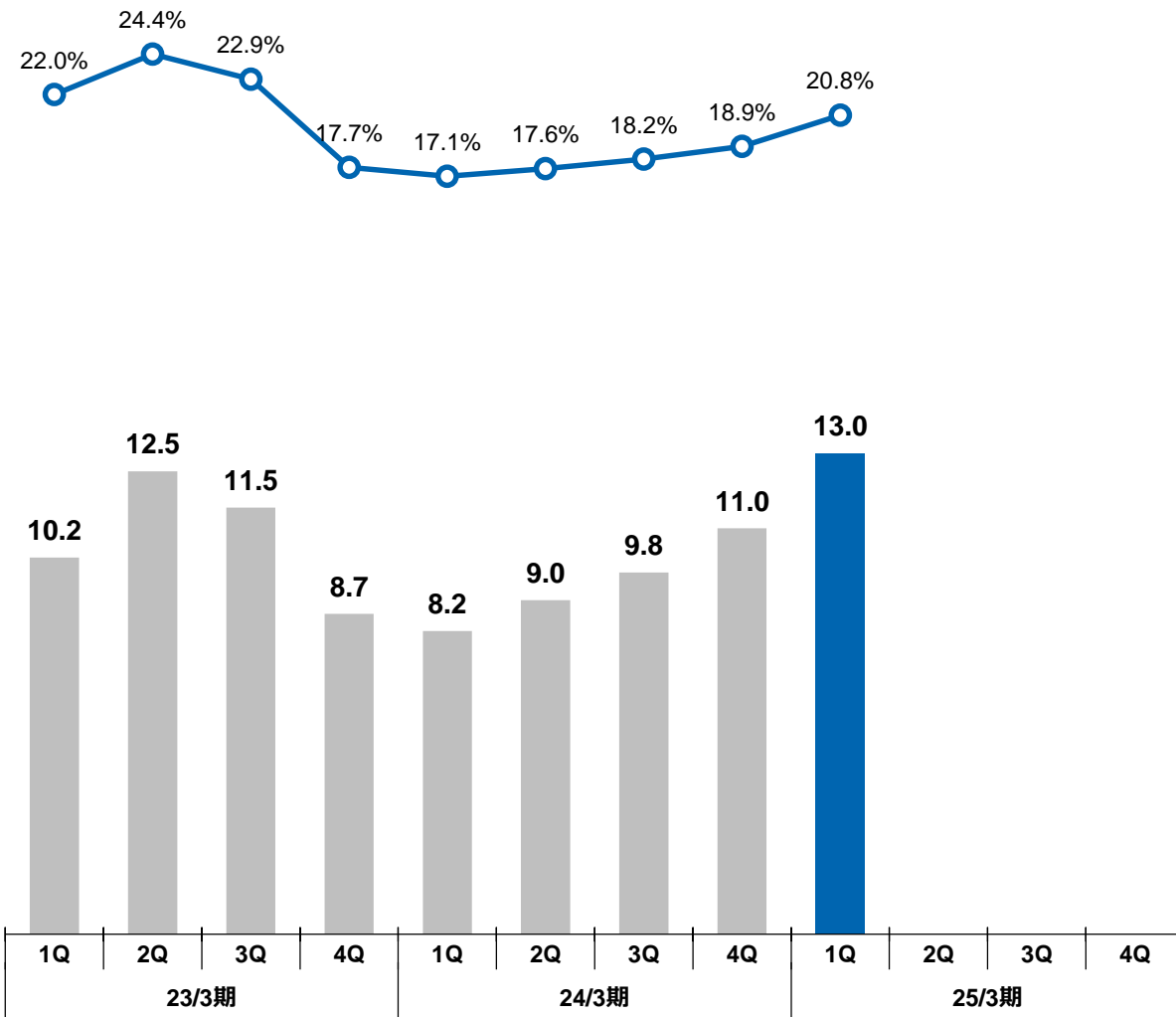
売上高 (10億円)



*24/3期 4Qより、サブセグメント名をピボットアッセンブリーからプレジジョンメカニカルコンポーネントに変更



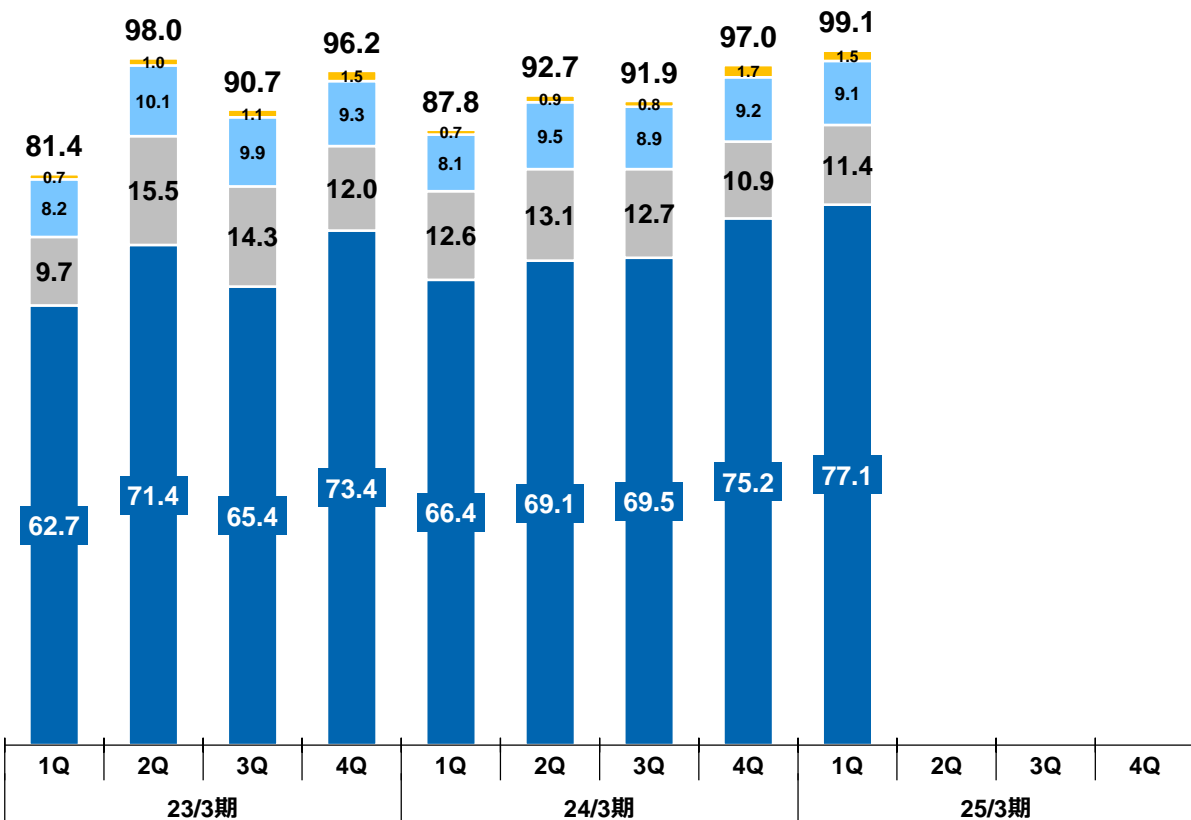
営業利益 (10億円)



モーター・ライティング&センシング セグメント (MLS)

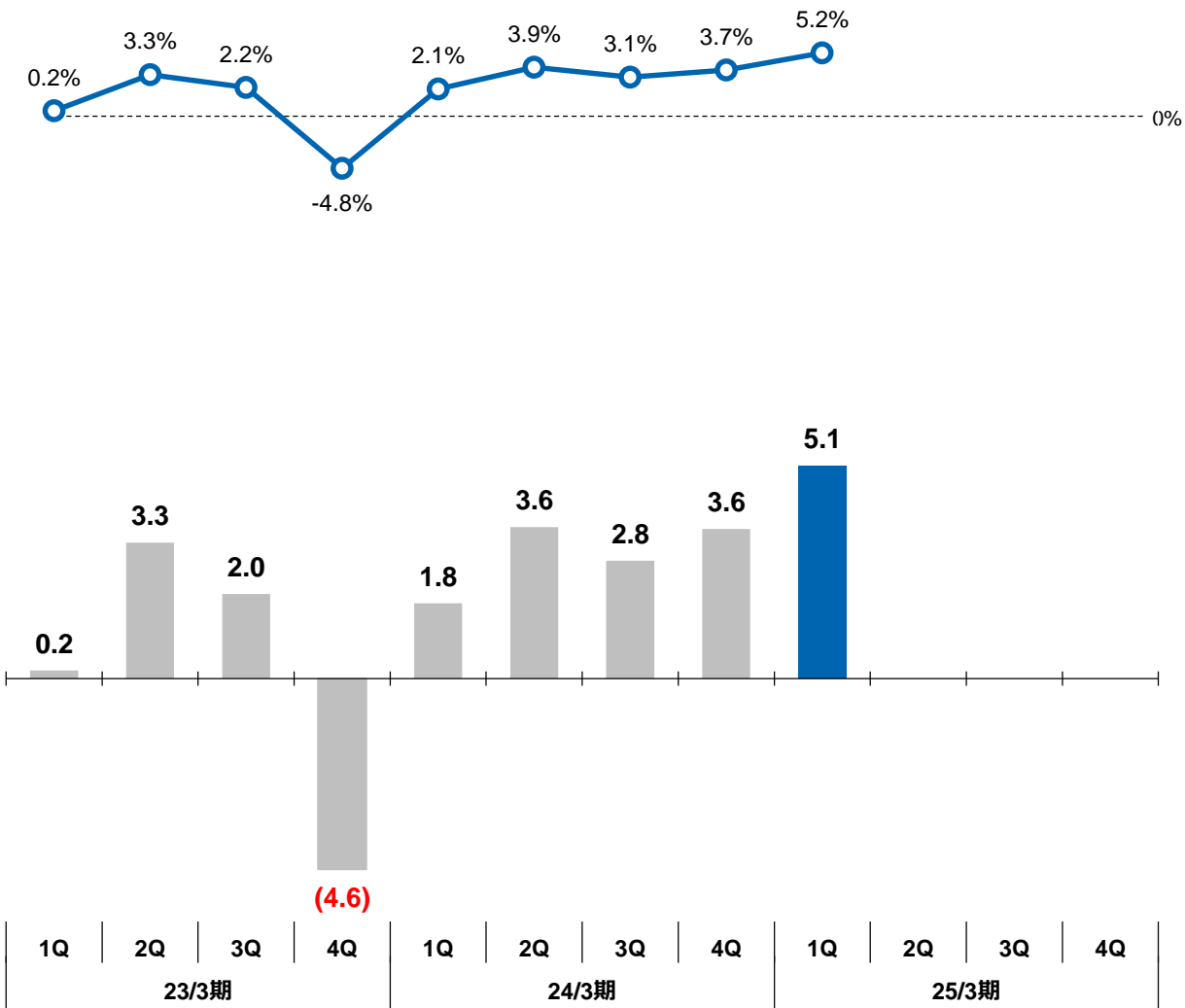
売上高 (10億円)

■ モーター ■ エレクトロデバイス ■ センシングデバイス ■ その他



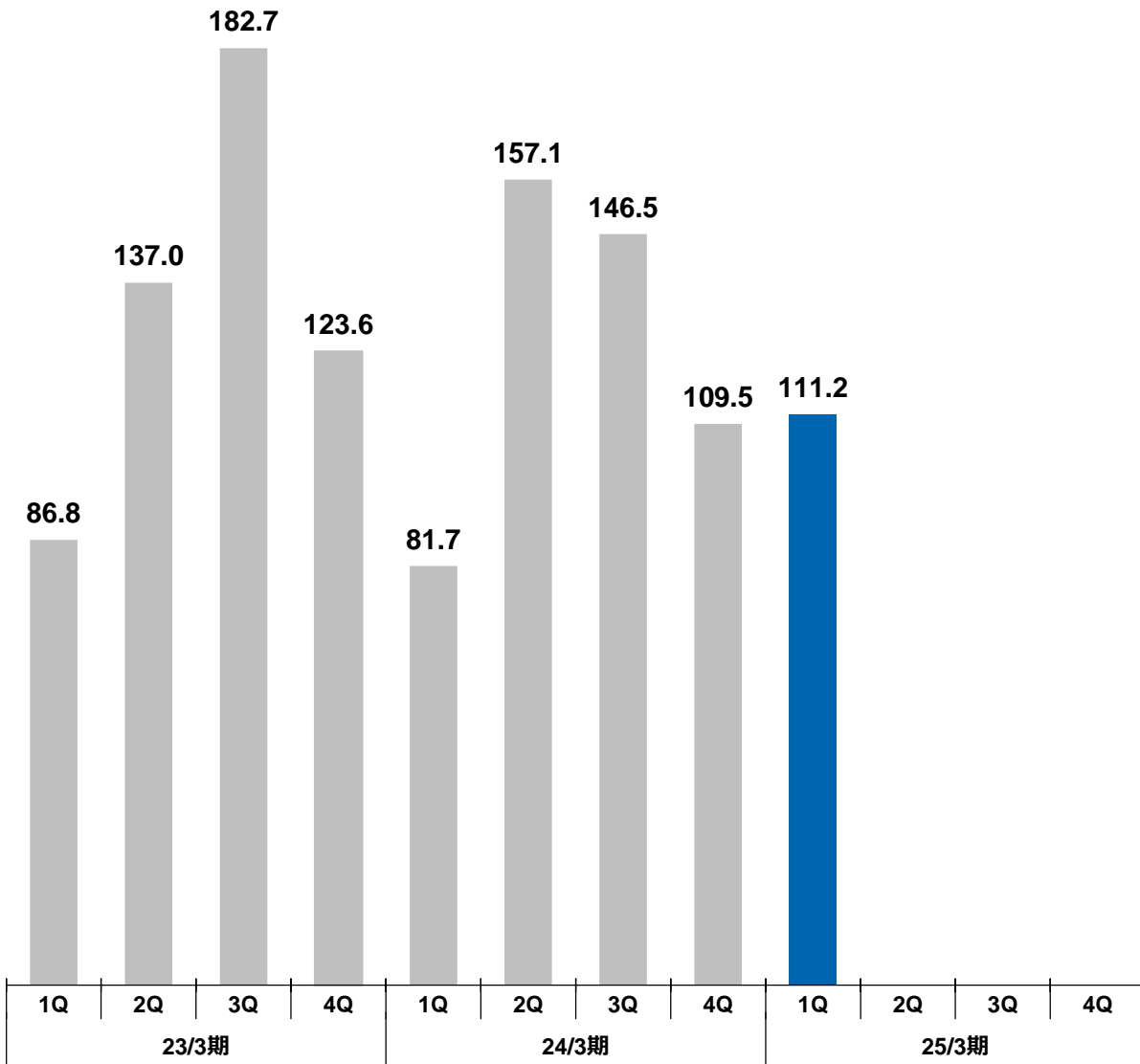
営業利益 (10億円)

■ 営業利益 ○ 営業利益率

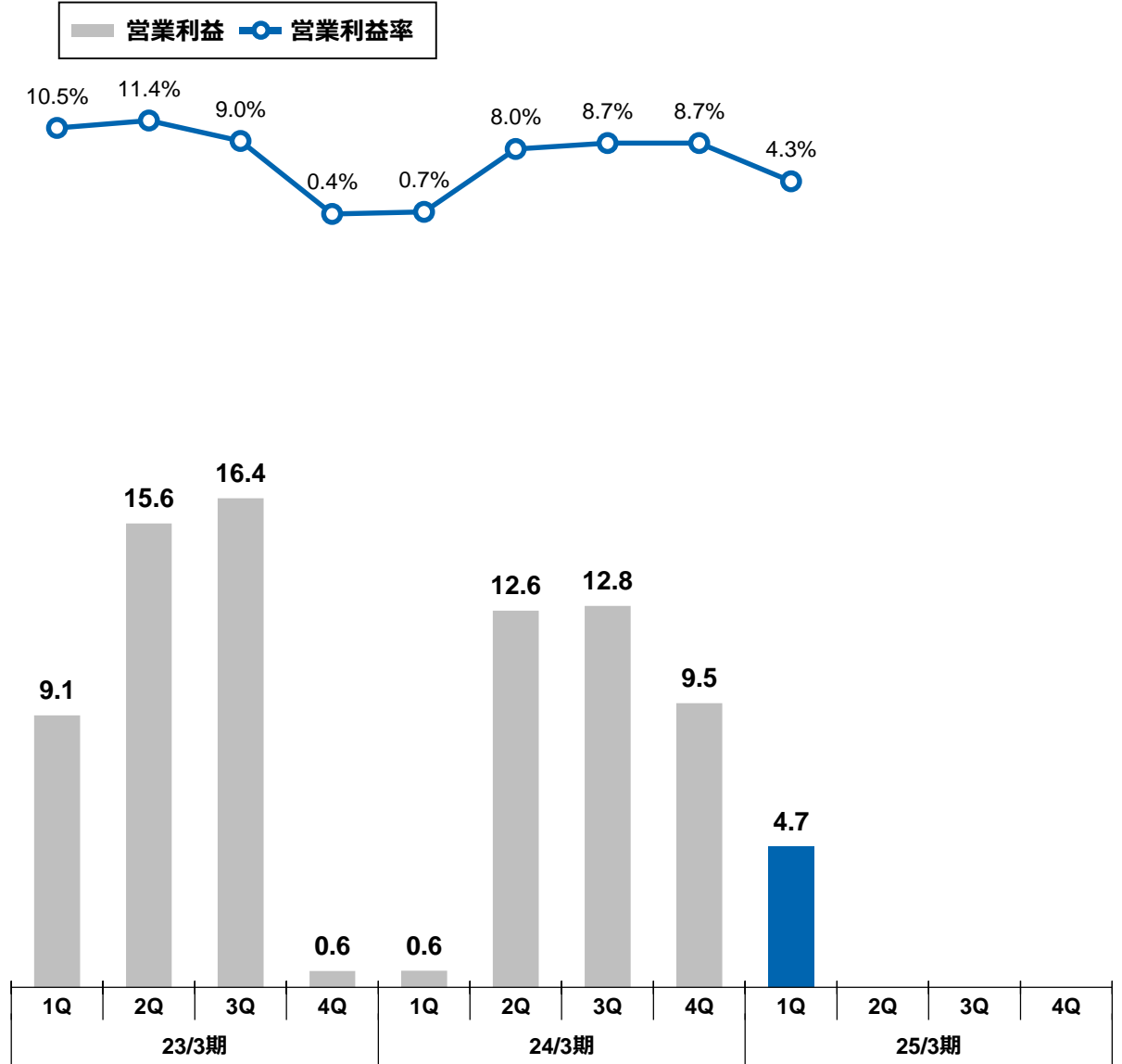


セミコンダクタ&エレクトロニクス セグメント (SE)

売上高 (10億円)

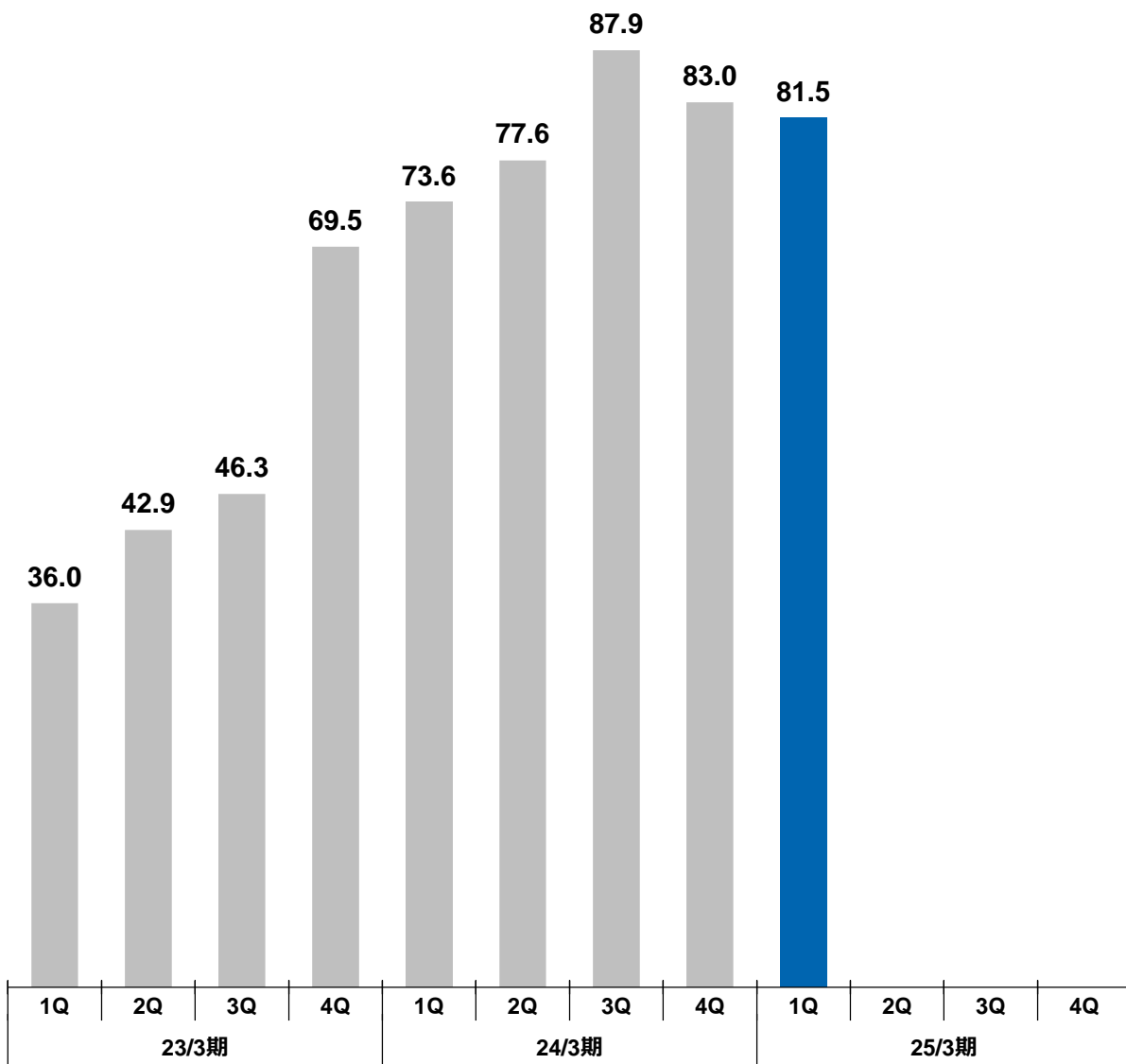


営業利益 (10億円)

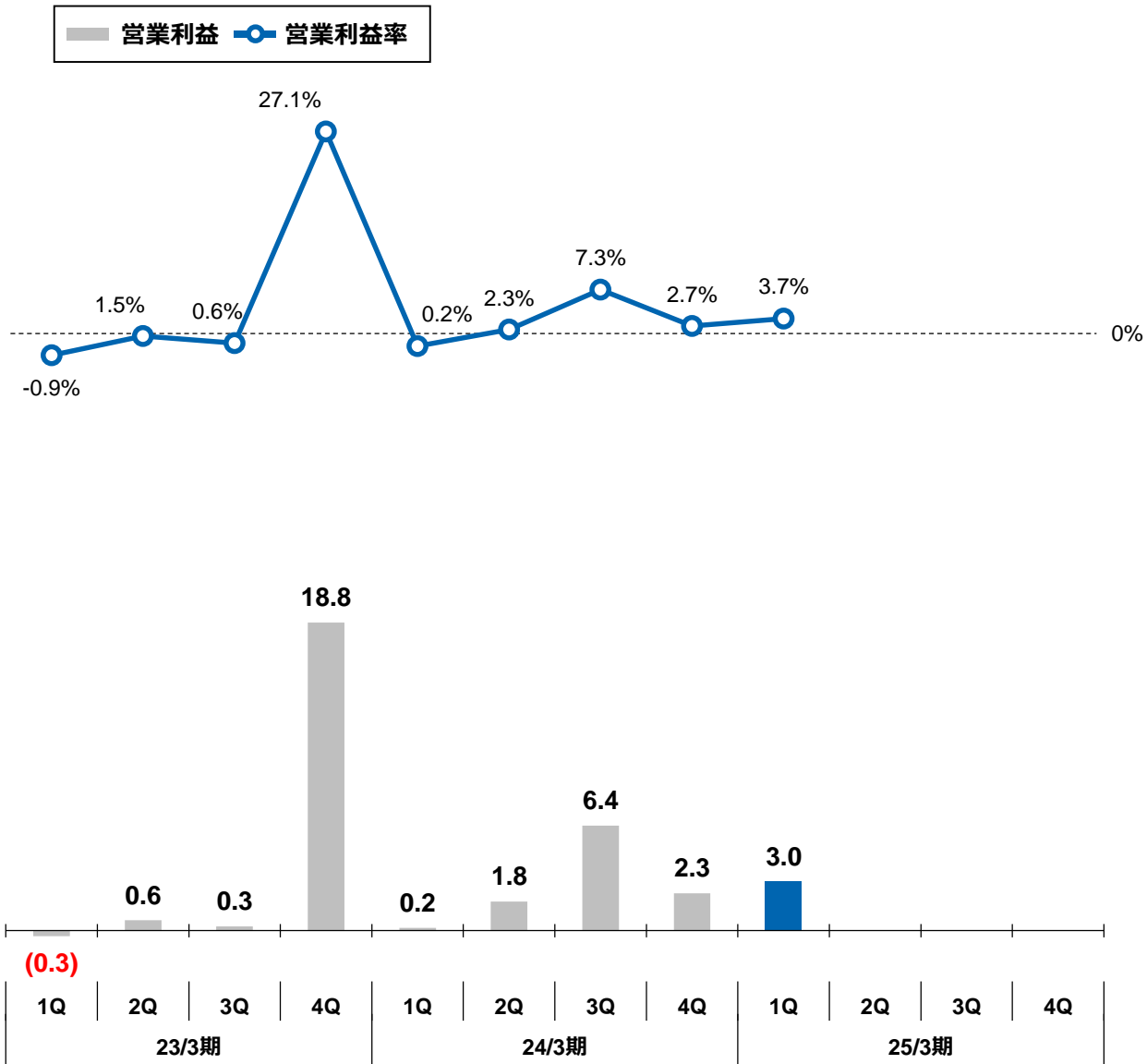


アクセスソリューションズ セグメント (AS)

売上高 (10億円)



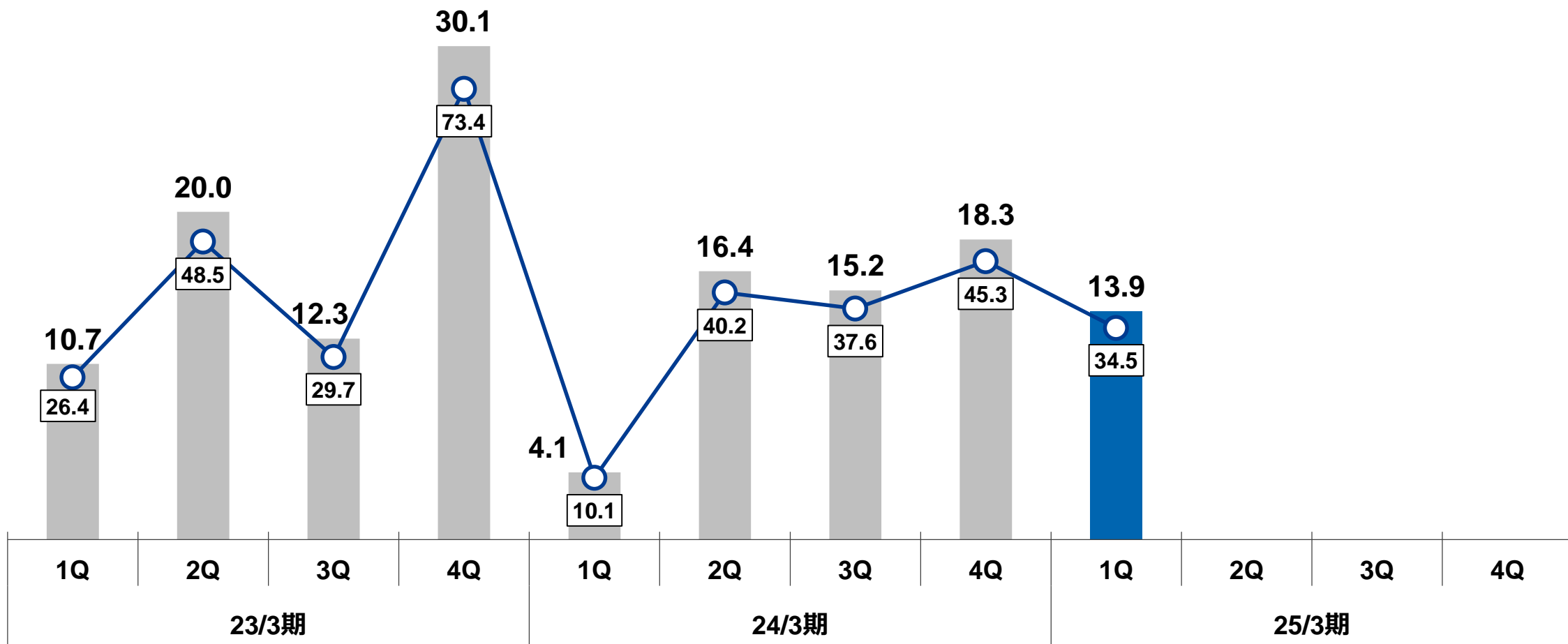
営業利益 (10億円)



親会社の所有者に帰属する四半期利益

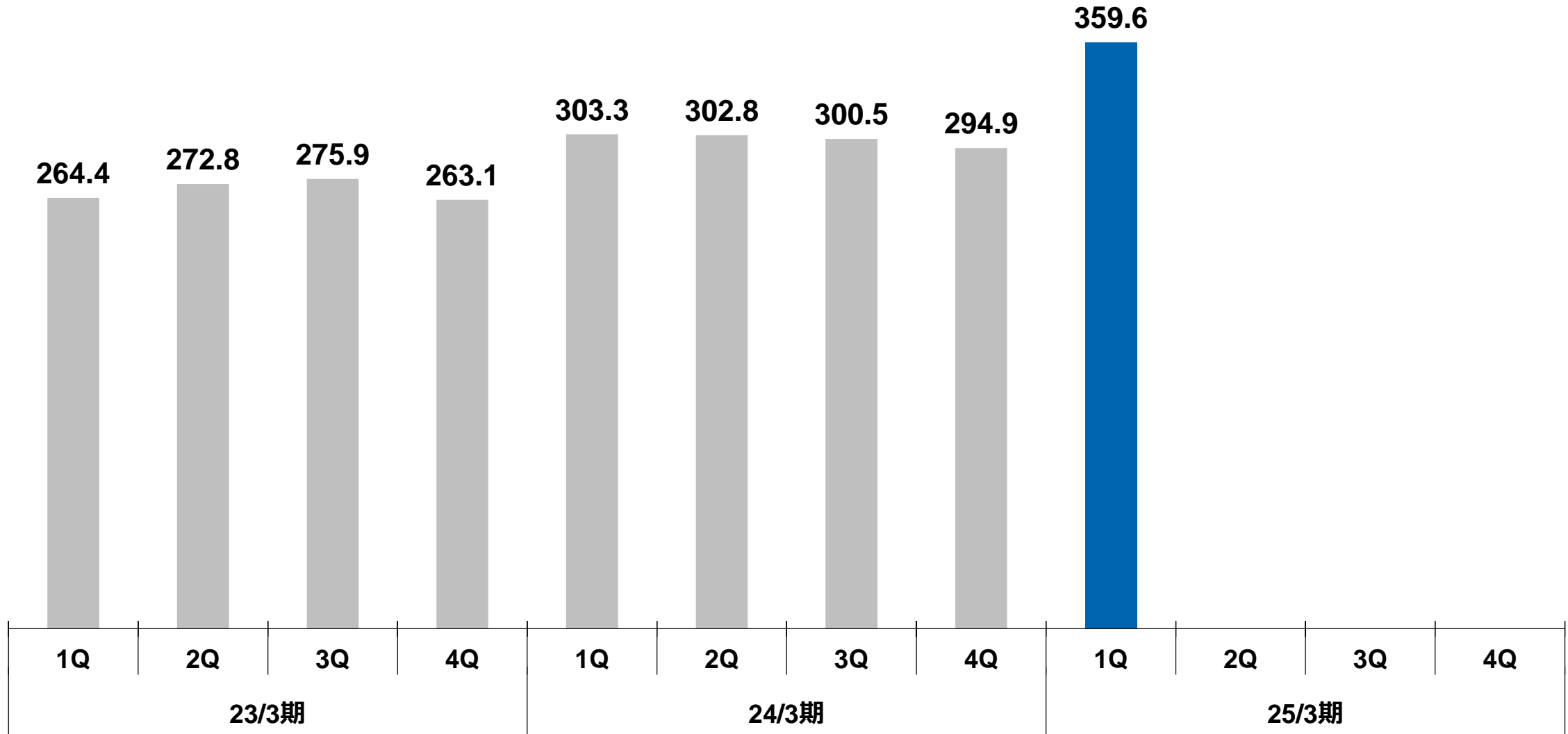
(10億円)

■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益 ● 基本的1株当たり四半期利益 (円)



棚卸資産

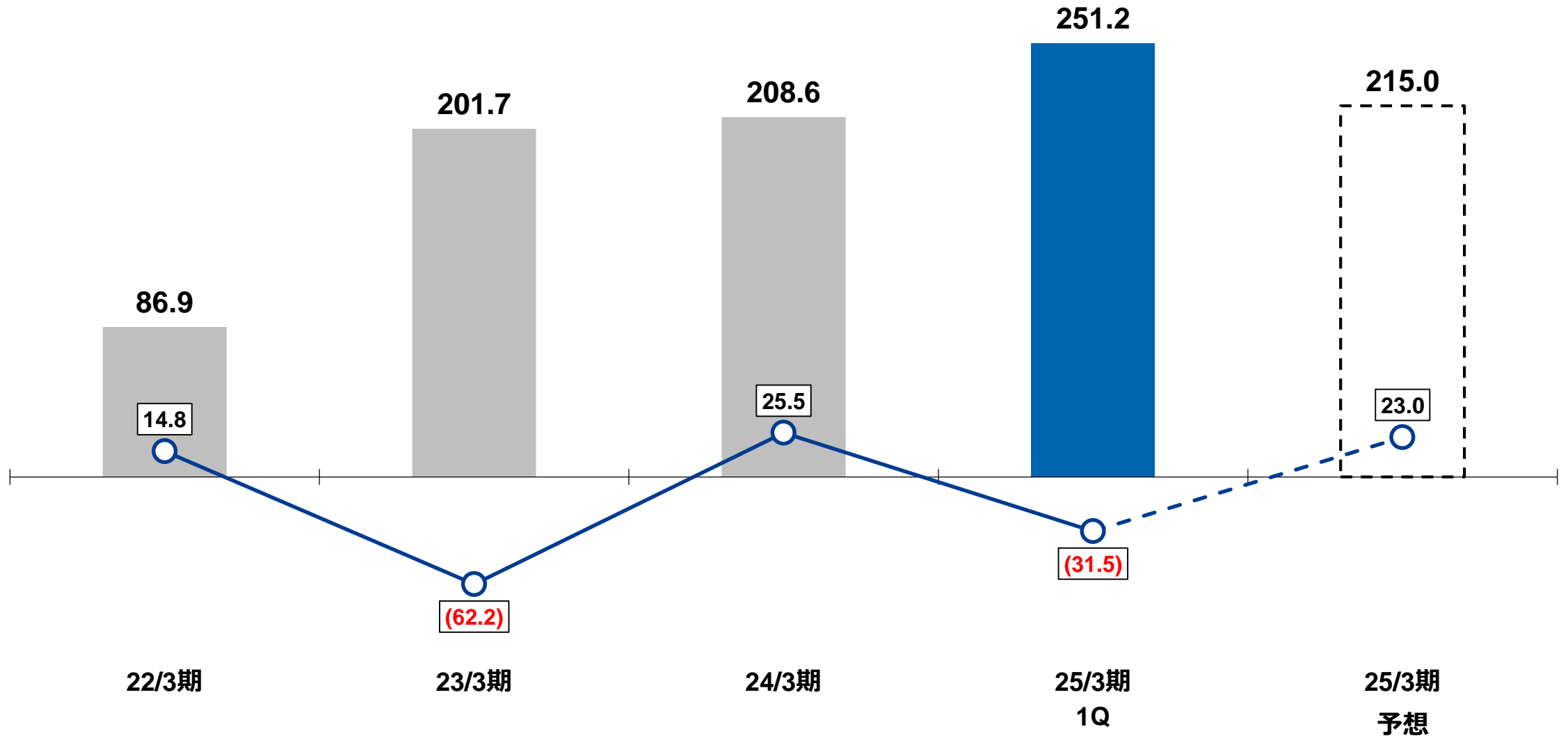
(10億円)



ネット有利子負債、フリーキャッシュフロー

(10億円)

■ ネット有利子負債* ○ フリーキャッシュフロー



*ネット有利子負債：連結財政状態計算書上の「社債および借入金」 - (「現金および現金同等物」+3か月超の定期預金)

1Q上振れ分を上方修正

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期			
	通期	上半期	下半期	通期	前期比
売上高	1,402,127	770,000	790,000	1,560,000	+11.3%
営業利益	73,536	48,000	55,000	103,000	+40.1%
税引前利益	75,545	46,000	53,000	99,000	+31.0%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	54,035	34,000	39,000	73,000	+35.1%
基本的1株当たり 当期利益 (円)	133.05	84.08	96.44	180.52	+35.7%

為替レート	2024年3月期 通期	2025年3月期 2Q-4Q想定
US\$	143.31円	140.00円
ユーロ	155.18円	150.00円
タイバーツ	4.08円	4.00円
人民元	20.03円	18.50円

セグメント別業績予想

(百万円)	2024年3月期 通期	2025年3月期			
		上半期	下半期	通期	前期比
売上高	1,402,127	770,000	790,000	1,560,000	+11.3%
プレシジョンテクノロジーズ	211,406	126,000	129,000	255,000	+20.6%
モーター・ライティング&センシング	369,388	206,000	209,000	415,000	+12.3%
セミコンダクタ&エレクトロニクス	494,717	272,000	283,000	555,000	+12.2%
アクセスソリューションズ	322,108	164,000	166,000	330,000	+2.5%
その他	4,508	2,000	3,000	5,000	+10.9%
営業利益	73,536	48,000	55,000	103,000	+40.1%
プレシジョンテクノロジーズ	38,035	26,500	28,500	55,000	+44.6%
モーター・ライティング&センシング	11,867	12,000	12,000	24,000	2.0倍
セミコンダクタ&エレクトロニクス	35,522	15,000	18,000	33,000	-7.1%
アクセスソリューションズ	10,625	7,000	10,000	17,000	+60.0%
その他	△728	△500	△500	△1,000	-
調整額	△21,785	△12,000	△13,000	△25,000	-

通期業績予想 5月時点業績予想からの差異

(10億円)

売上高



営業利益



1Qは想定に対し上振れ着地。市場環境はコロナ前にほぼ回復したことを確認

全体

- 1Q上振れ分を上方修正。2Qも好調が続く見込み
- PT、MLSはデータセンター向け、高収益製品が市場回復。2Q以降も好調継続を見込む
SE、ASは想定通りの着地
- 中国を中心とした市場減速は懸念事項だが、中国ローカル向けの販売比率は低く、影響は小さい

プレジジョン テクノロジーズ (PT)

- ファン用途向けのベアリング、HDD向けピボットは底入れから回復。生産・販売数量の回復に伴い収益性の改善を見込む
- 自動車向けは日系OEMの認証問題の影響を多少受けるが、コンテンツグロースにより引き続き堅調
- 航空機向けは一部サプライチェーン問題は残るも航空機需要は堅調に回復（ダブルアイルも回復傾向）

モーター・ ライティング& センシング (MLS)

- HDD向けモーターはハイエンドのニアラインが堅調。プロダクトミックス改善で収益力回復へ
- 車載向けモーターはグローバルニッチトップ製品の好調継続。OAなどその他モーターも順調に回復
- スマートフォン向けバックライトは終息に向かう

セミコンダクタ& エレクトロニクス (SE)

- 半導体はBBレシオ 1を上回るも市場回復はまだ途上。ミネベアパワーデバイスのPMIは推進中
- スマートフォン向けカメラアクチュエータ生産・販売は2Qに増大。3Q以降の動向を注視

アクセス ソリューションズ (AS)

- 日系OEMの中国市場での販売減速の影響を受けるが、通期の営業利益見込は期初想定を維持

1Q上振分のみを上方修正。2Qも計画以上か？

(百万円)	2024年3月		2025年3月期				
	1Q	通期	1Q	前期比	2Q-4Q	通期	前期比
売上高	292,370	1,402,127	355,454	+21.6%	1,204,546	1,560,000	+11.3%
営業利益	6,743	73,536	20,025	3.0倍	82,975	103,000	+40.1%
<small>親会社の所有者に帰属する</small> 当期利益	4,109	54,035	13,936	3.4倍	59,064	73,000	+35.1%
<small>基本的1株当たり</small> 当期利益(円)	10.06	133.05	34.46	3.4倍	146.06	180.52	+35.7%

データセンター他、高収益製品市場全体が回復。2Q以降も好調継続を見込む

主なポイント

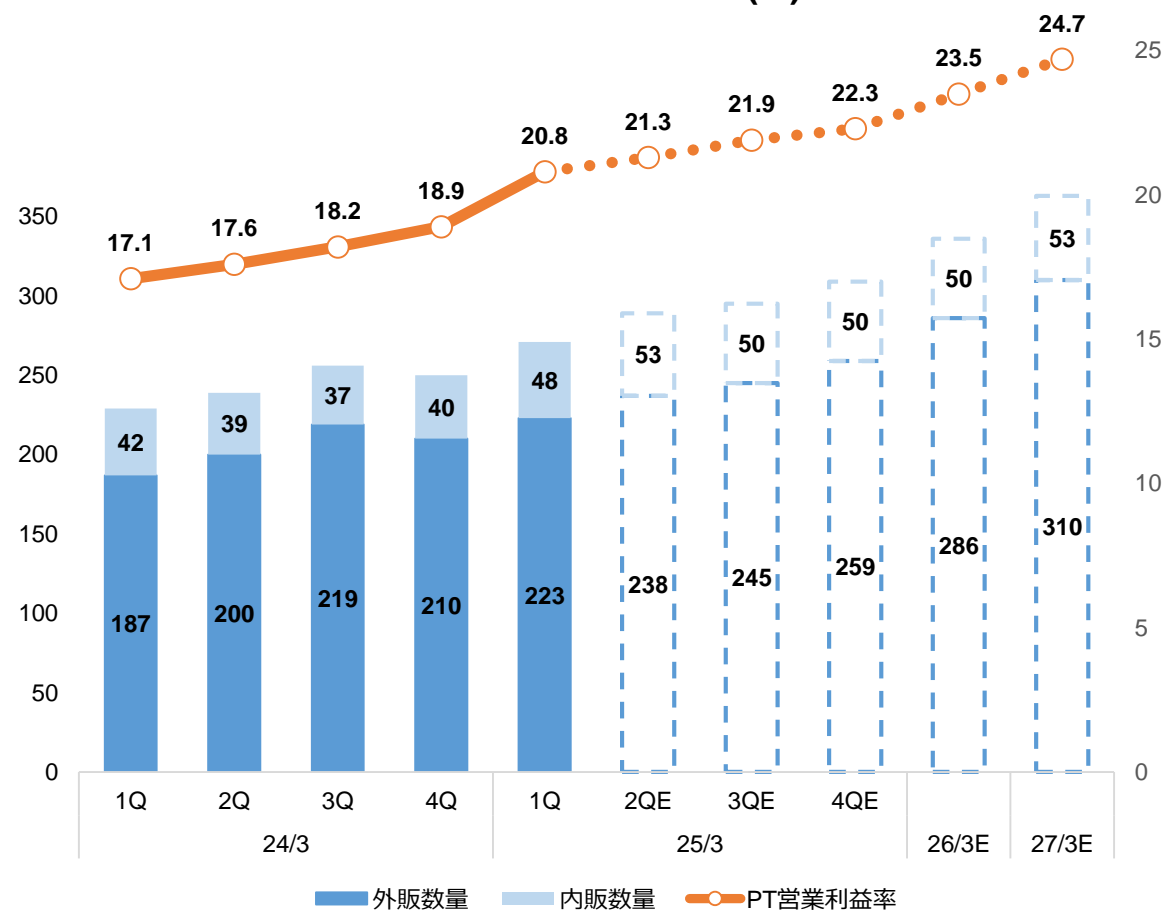
- 1** ボールベアリング
 コロナ前の水準に回復 (7月はほぼ3億個へ)
 データセンター向けは下半期に向けて徐々に増加。車載、その他高収益製品も堅調に推移

- 2** ロッドエンド・ファスナー
 一部サプライチェーン問題は残るが
 旅客数回復に伴いシングル・ダブルアイル需要も増加。堅調な回復が続く

- 3** プレジジョンメカニカルコンポーネント (PMC)
 ボールねじ及びボールウェイ事業の
 経営統合準備は順調に進む

ボールベアリング 外販・内販数量 (月次平均・百万個)

PT営業利益率の推移(%)



モーターは高収益分野が回復堅調で収益改善。計画達成の確度は高まる

主なポイント

- 1 モーター
HDDモーターの
プロダクトミックスの改善が進む
- 2 モーター
車載向けモーターはコンテンツグロース継続
OAなどその他分野も回復が続く
- 3 電子デバイス
スマートフォン向けが終息しても利益を確保
タブレットは2Q以降の貢献を見込む
車載向けの大型プロジェクトは着々と
準備を進める

車載向けグローバルニッチトップ製品と用途

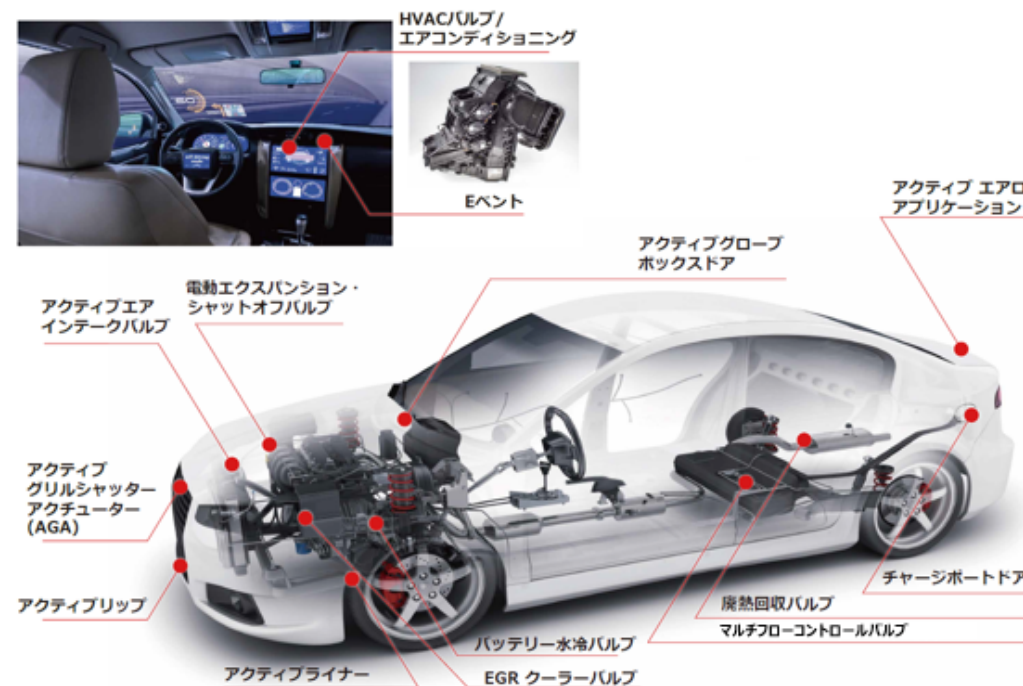


ステッピングモーター
アクチュエーター

ブラシレスDCモーター
アクチュエーター

ブラシレスモーター
アクチュエーター

世界市場
シェア
60%
(当社調べ)



半導体は回復途上。カメラアクチュエータの需要動向を注視

主なポイント

1

アナログ半導体

ミネベアパワーデバイス：
PMIを推進中。価格調整を進める
滋賀工場と一体となりIGBTを量産・拡販

エイブリック：
下半期に向けて車載、データセンター需要回復
で収益力のさらなる回復見込む

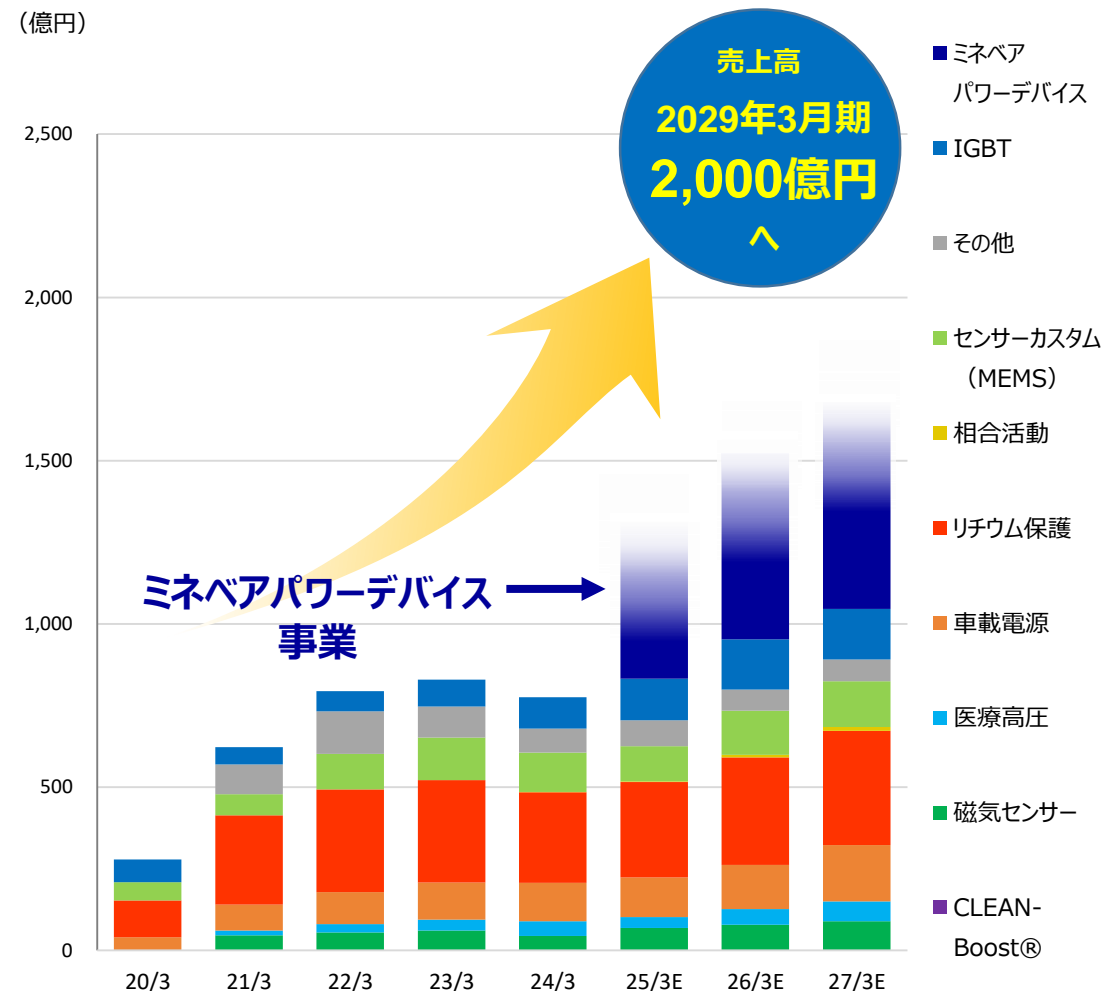
ミツミ 半導体事業部：
スマートフォン回復により主力の
リチウムイオン保護ICの数量増加を見込む

2

光デバイス

2Qの内示は強く、買い替え需要の動向見極め

半導体部門 売上計画イメージ (ミネベアパワーデバイス統合後の想定値)



さらなる成長につながる相合の成果が結実 中国市場リスクを織り込み保守的なスタンスは変わらず

主なポイント

1 相合による高付加価値製品の開発の成果が結実

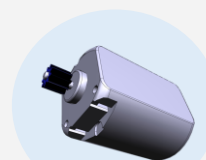
ウィングハンドルがBMWに採用決定
ドアハンドルも新たな世界へ

2 車載デバイスの利益貢献も継続

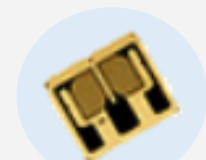
3 中国市場を中心とする市場減速による影響は想定よりも大きい
統合によるコスト削減に取り組む

ウィングハンドル

- ドアロック、モーター、センサーの相合により、これまでにないタッチセンサー操作による電動ロック/アンロックが可能に
- デザイン性を高め、シンプルなドアシステムを実現することで、自動車設計の自由度を高める



モーター



センサー



ハンドル

1 構造改革の成功 = 8本槍戦略の正当性を証明

- ✓ LEDバックライトの営業利益がほとんどなくなったにもかかわらず
今期は1,000億円を超える営業利益を見込む

2

- 数々の高付加価値製品がこれから数年に渡り上市。「収穫期」へ
HVAC用アクチュエーター、車載用ブラシレスモーター、LiDARモーター、静音ベアリング、ウイングハンドル etc.
- ✓ これらの製品は**平均で10%程度の営業利益率**を狙える！

3

- 10%以上の(実質的)[※]営業利益率に引き上げるため戦略・執行の一部を修正
- ✓ **売上高2.5兆円、営業利益2,500億円の目標は堅持**

※ 実質的営業利益率：支給部品等の売上高を除いた場合の営業利益率

これらの戦略の実施により

2.5兆円の売上が成立した時

2,500億円の営業利益のイメージを作る！

自己株式の取得

自己株式取得に係る事項を決議（2024年8月2日）

- 取得株式総数： 上限280万株
（発行済株式総数（自己株式を除く）の0.69%）
- 取得株式総額： **上限100億円**
- 取得期間： 2024年8月21日から2024年12月23日まで
- 取得理由： 株主還元および資本効率の向上と経営環境に応じた機動的な資本政策を遂行するため

配当

原則として連結配当性向20%程度を目処としておりますが、経営環境を総合的に勘案し、継続して安定的な配当を目指します。



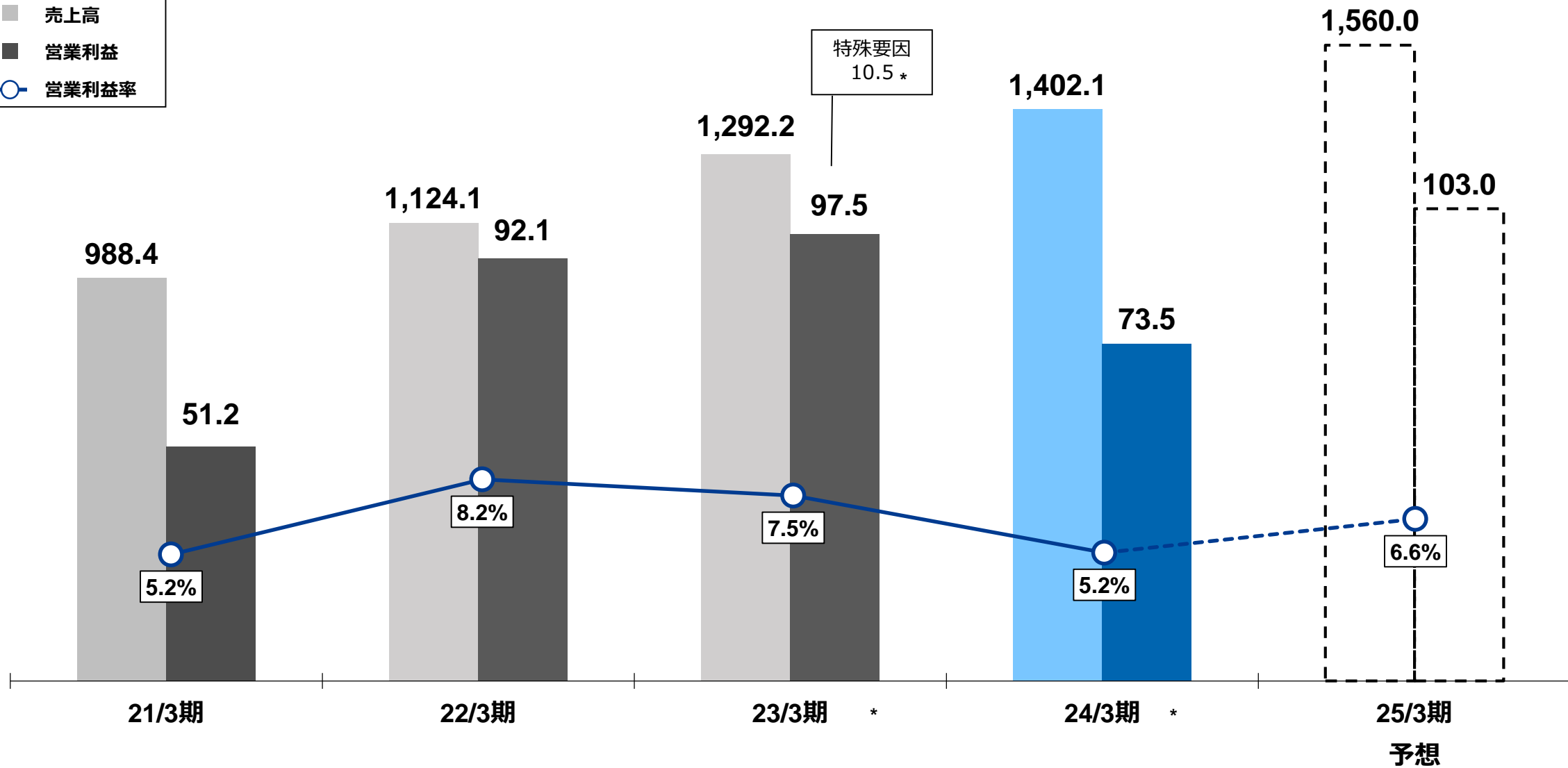
当資料で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。本資料に掲載のあらゆる情報はミネベアミツミ株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。

參考資料

売上高、営業利益、営業利益率

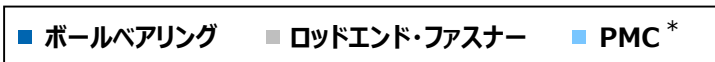
(10億円)

*本多通信工業・ミネベアコネクト・ミネベア アクセソリューションズのPPA評価完了に伴い、2024年3月期第3四半期以前の営業利益を遡及修正

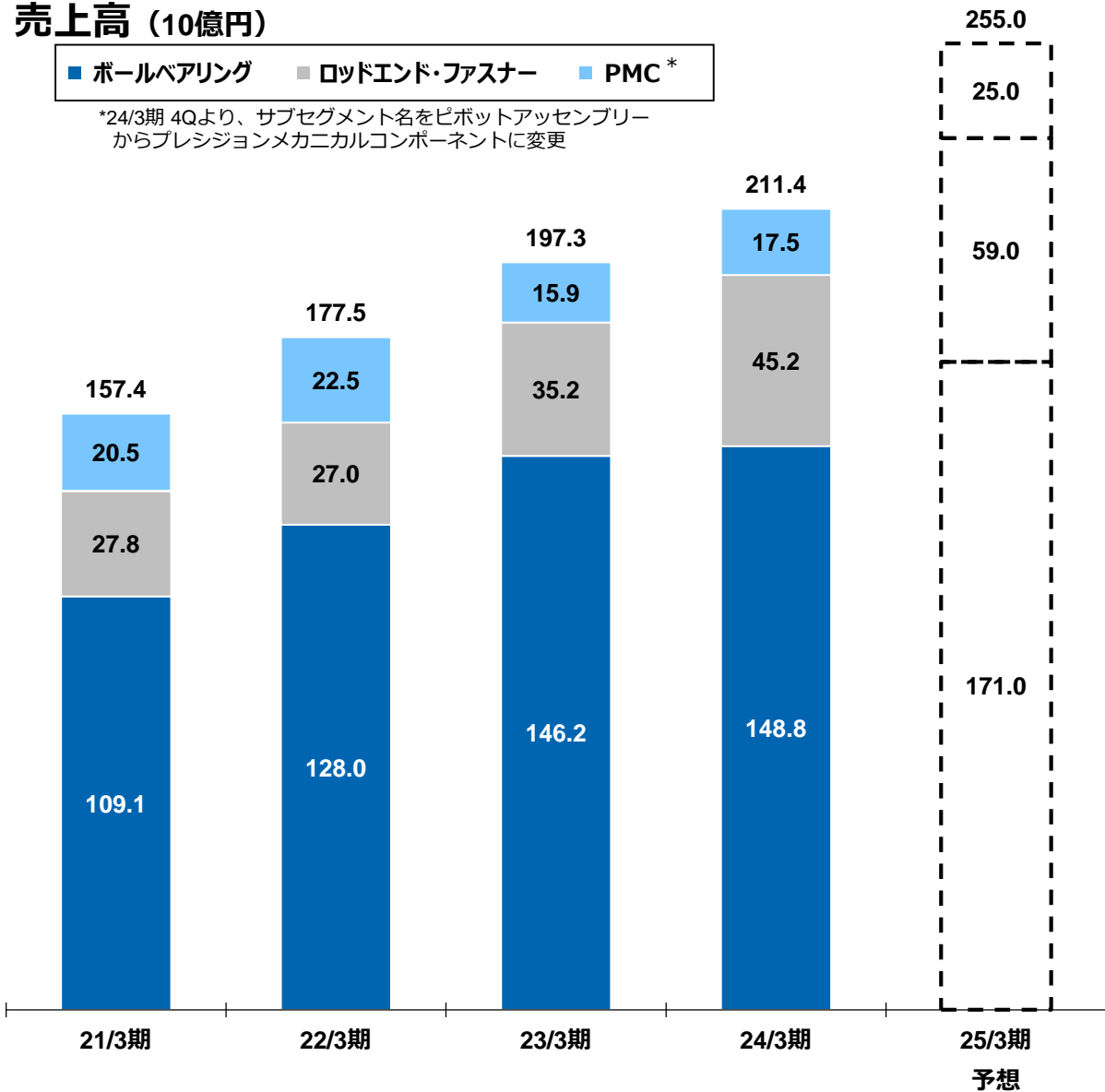


プレジジョンテクノロジーズ セグメント (PT)

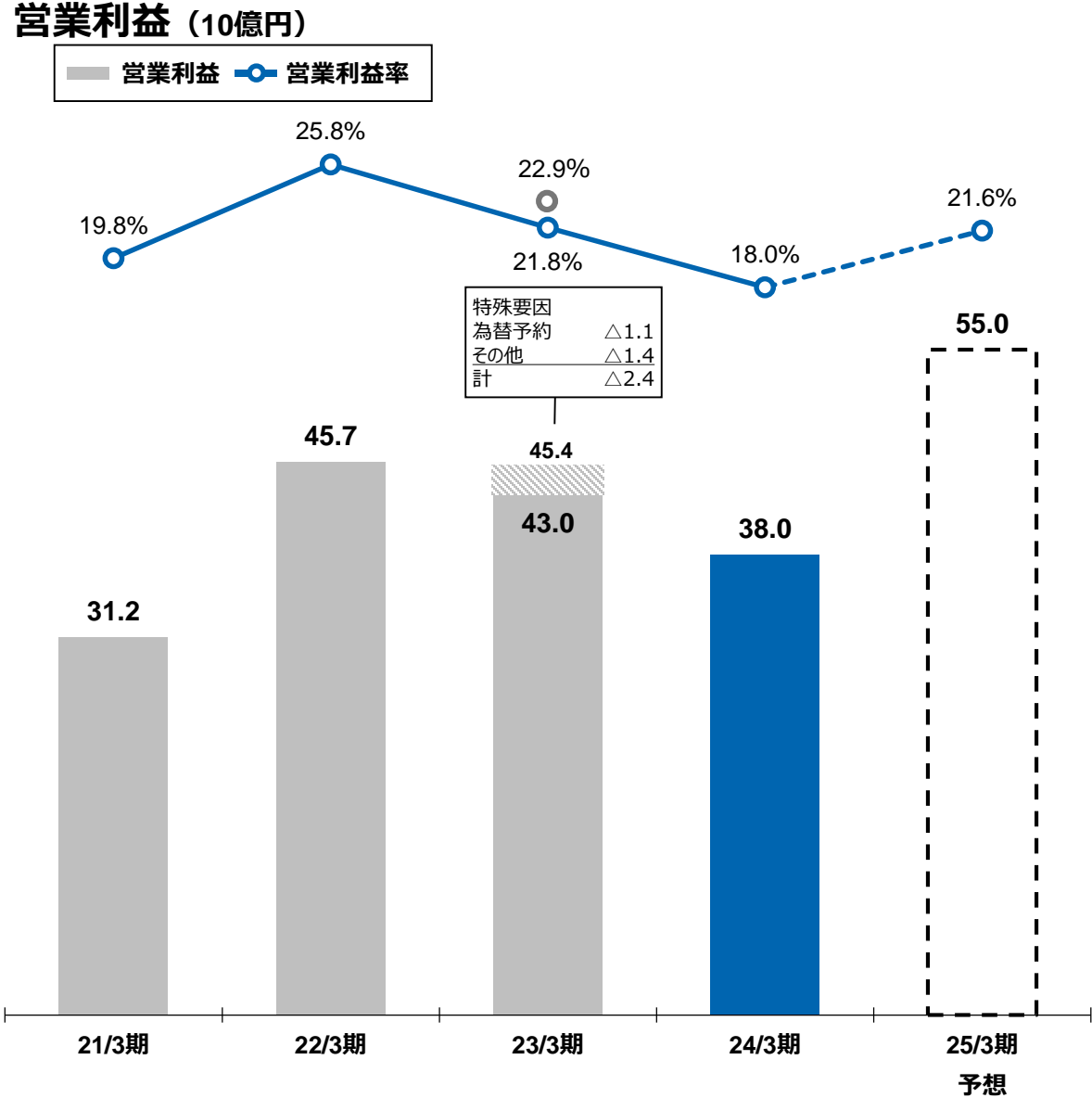
売上高 (10億円)



*24/3期 4Qより、サブセグメント名をピボットアッセンブリーからプレジジョンメカニカルコンポーネントに変更

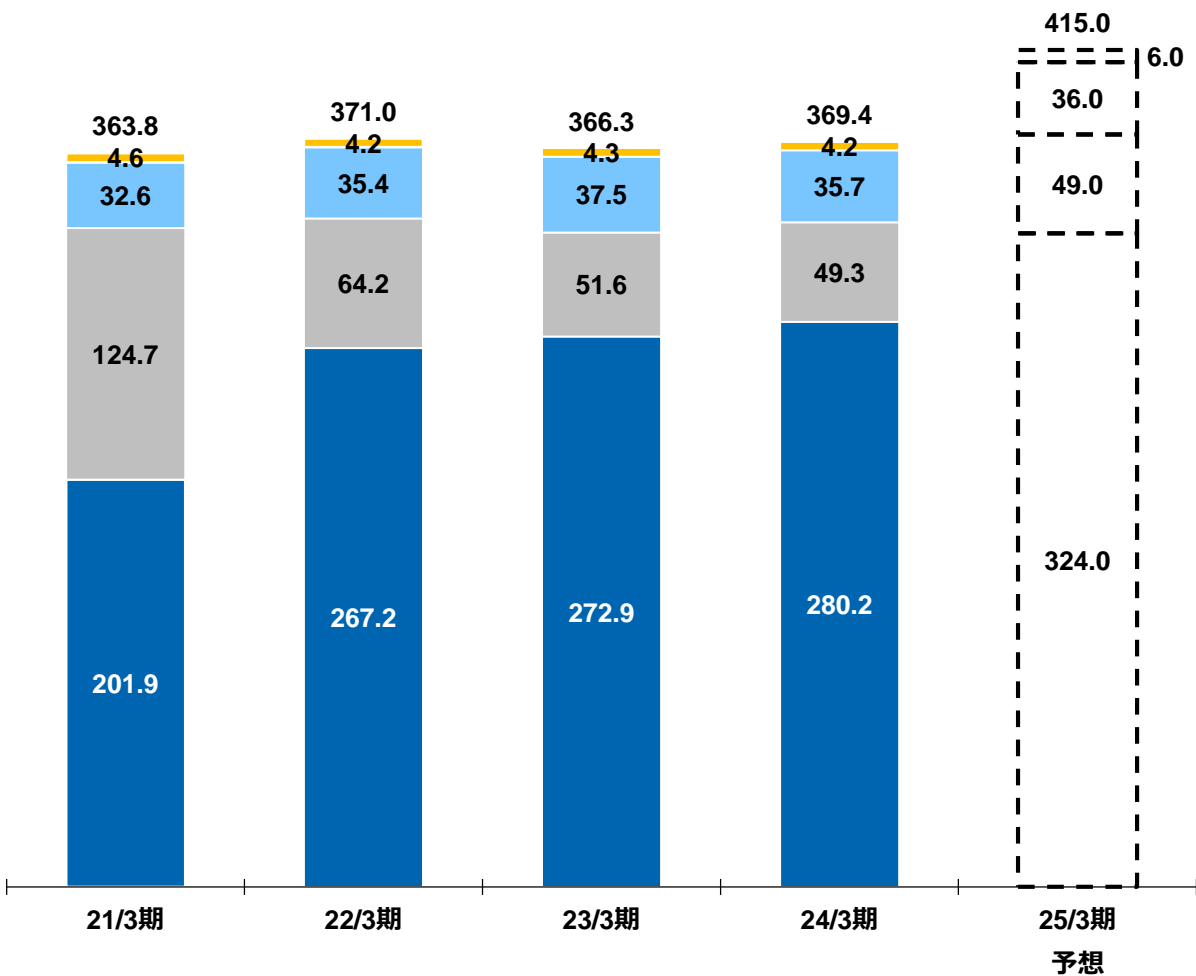


営業利益 (10億円)

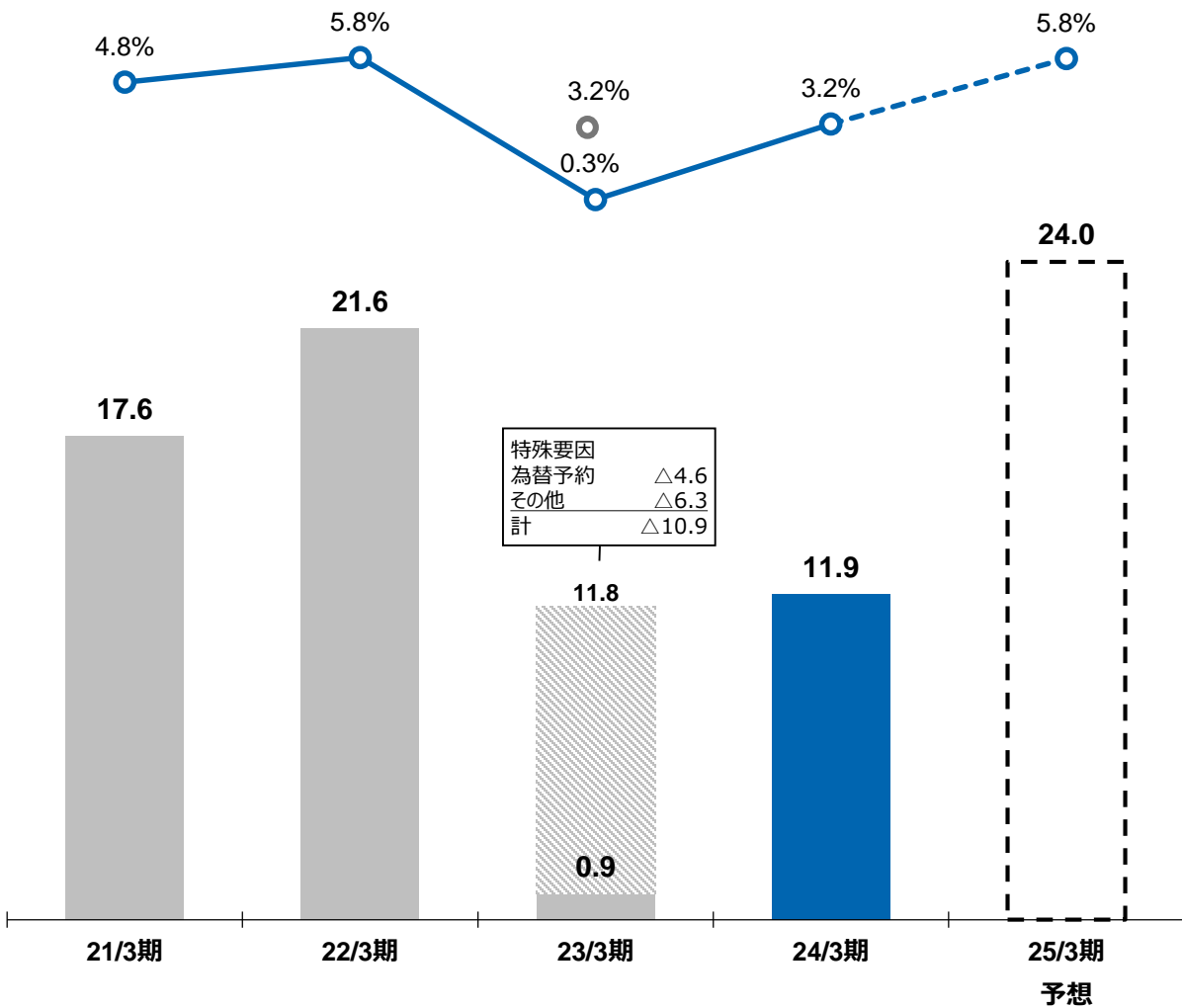


モーター・ライティング&センシング セグメント (MLS)

売上高 (10億円)

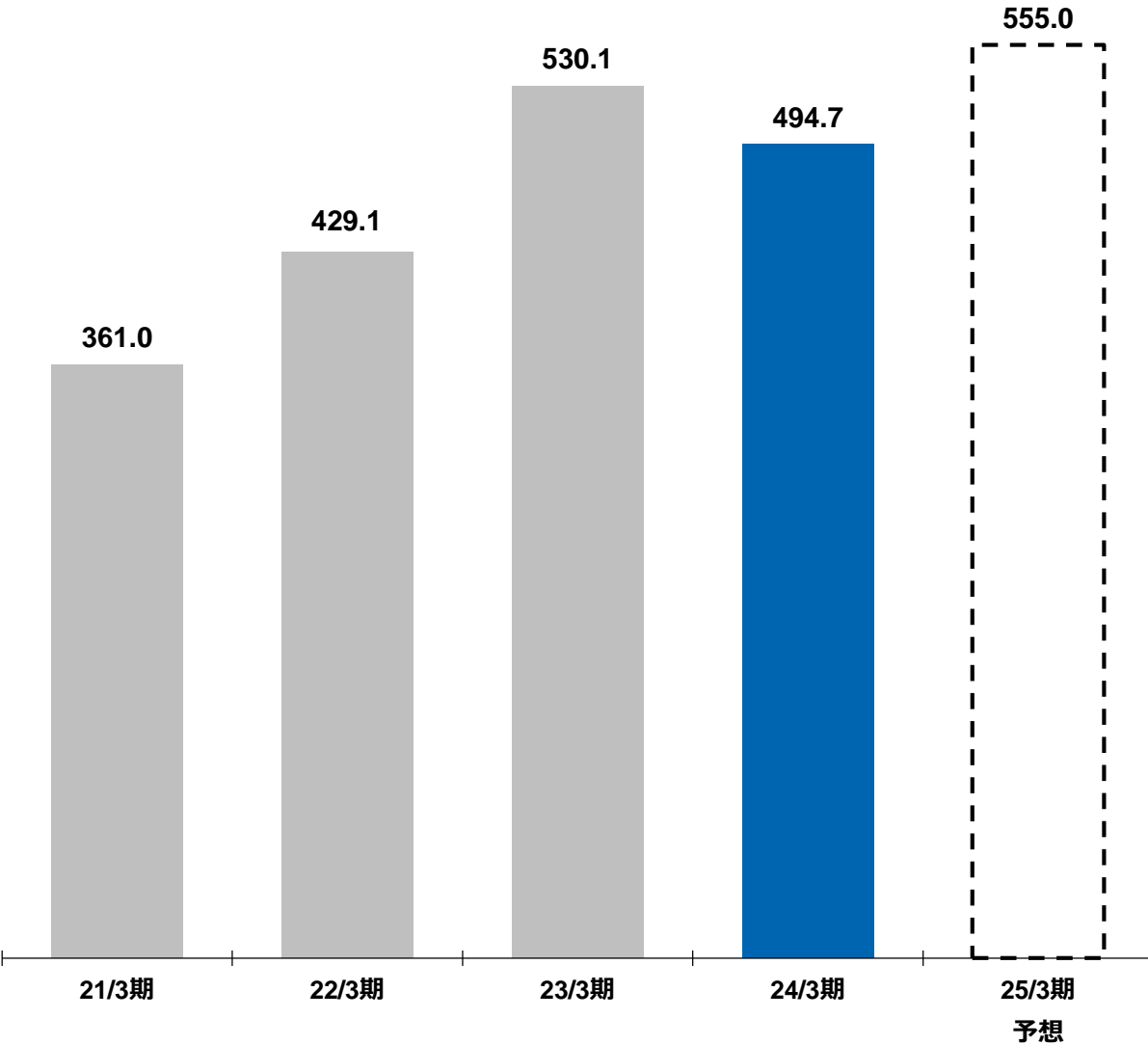


営業利益 (10億円)

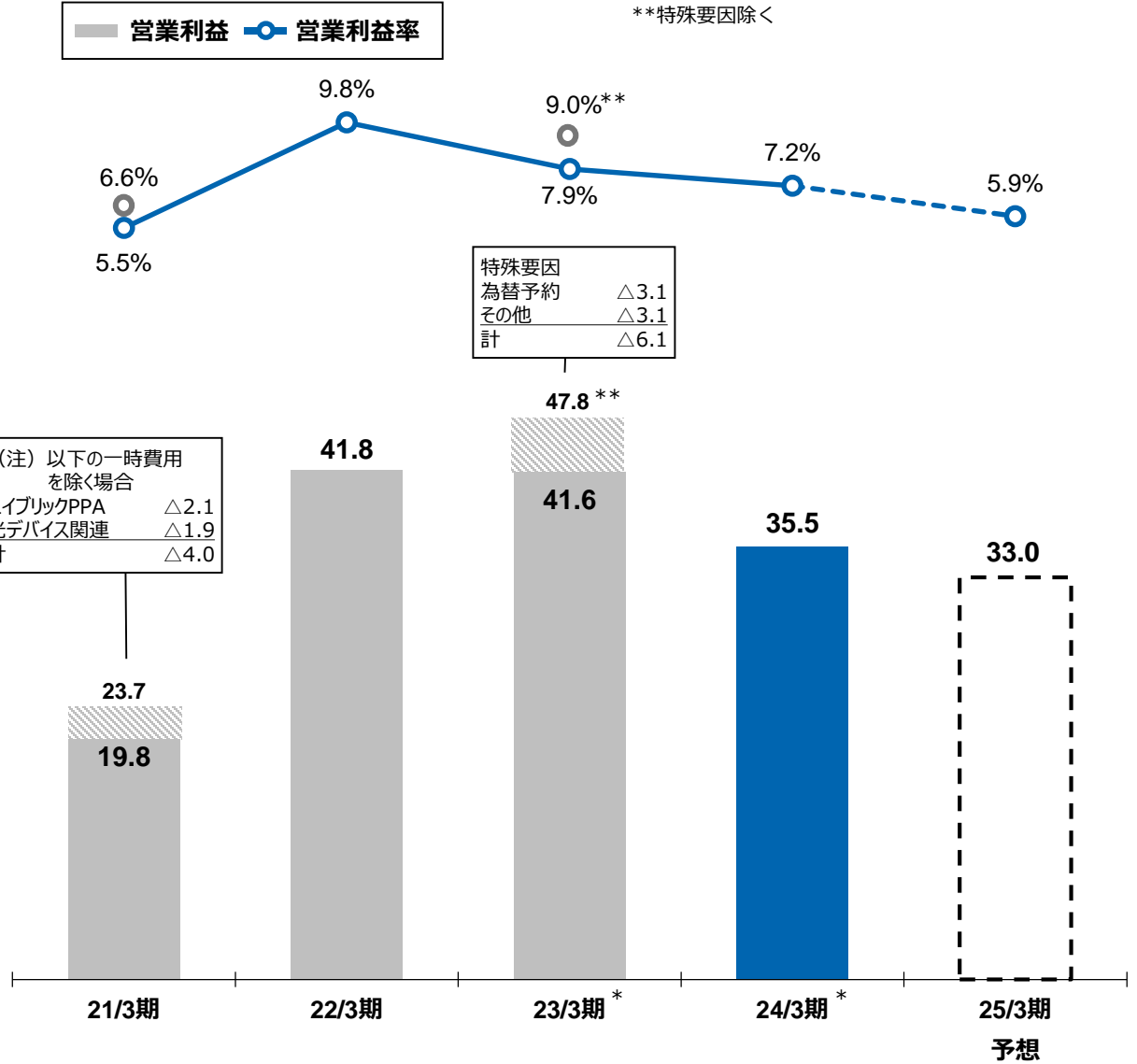


セミコンダクタ&エレクトロニクス セグメント (SE)

売上高 (10億円)



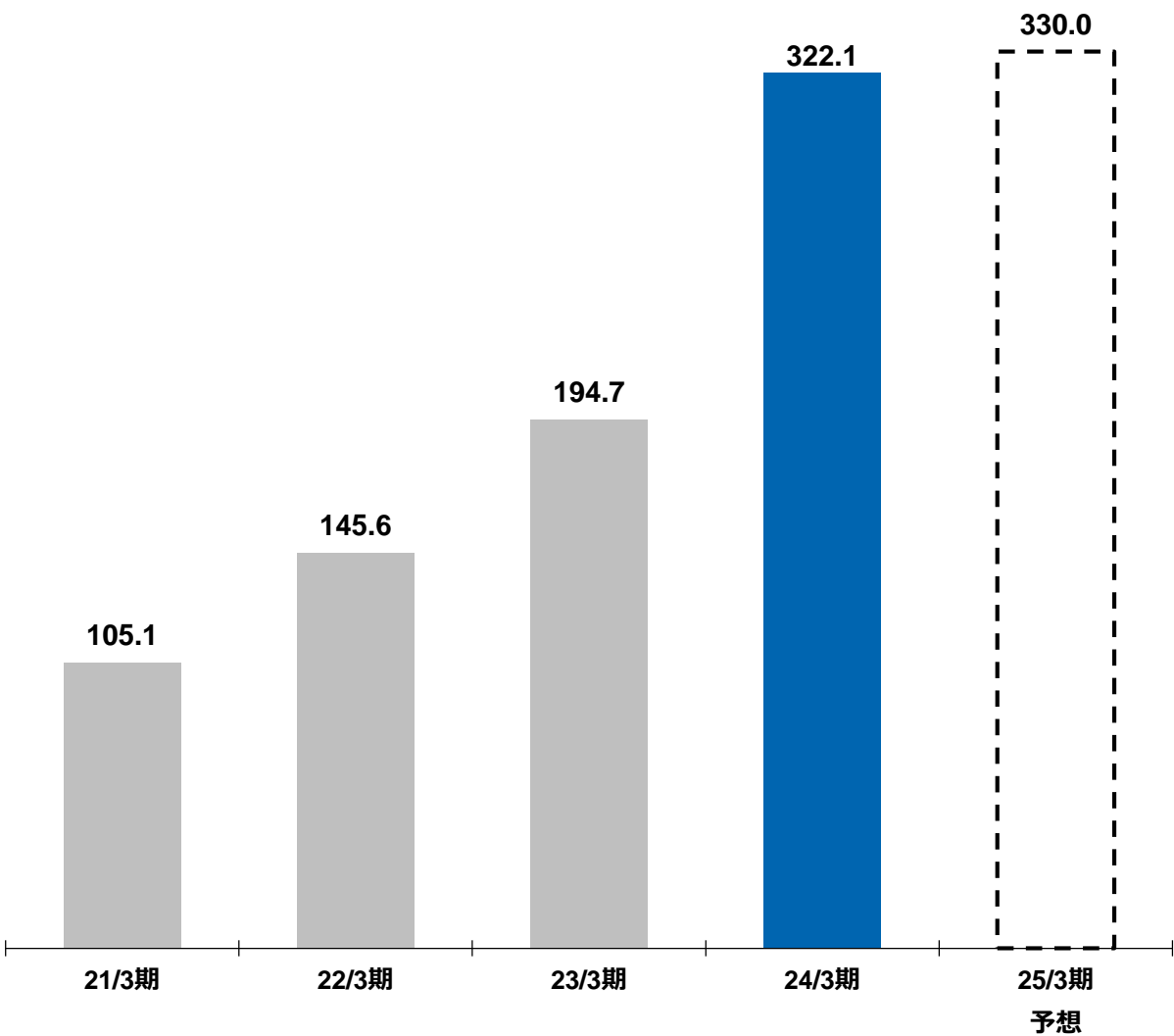
営業利益 (10億円)



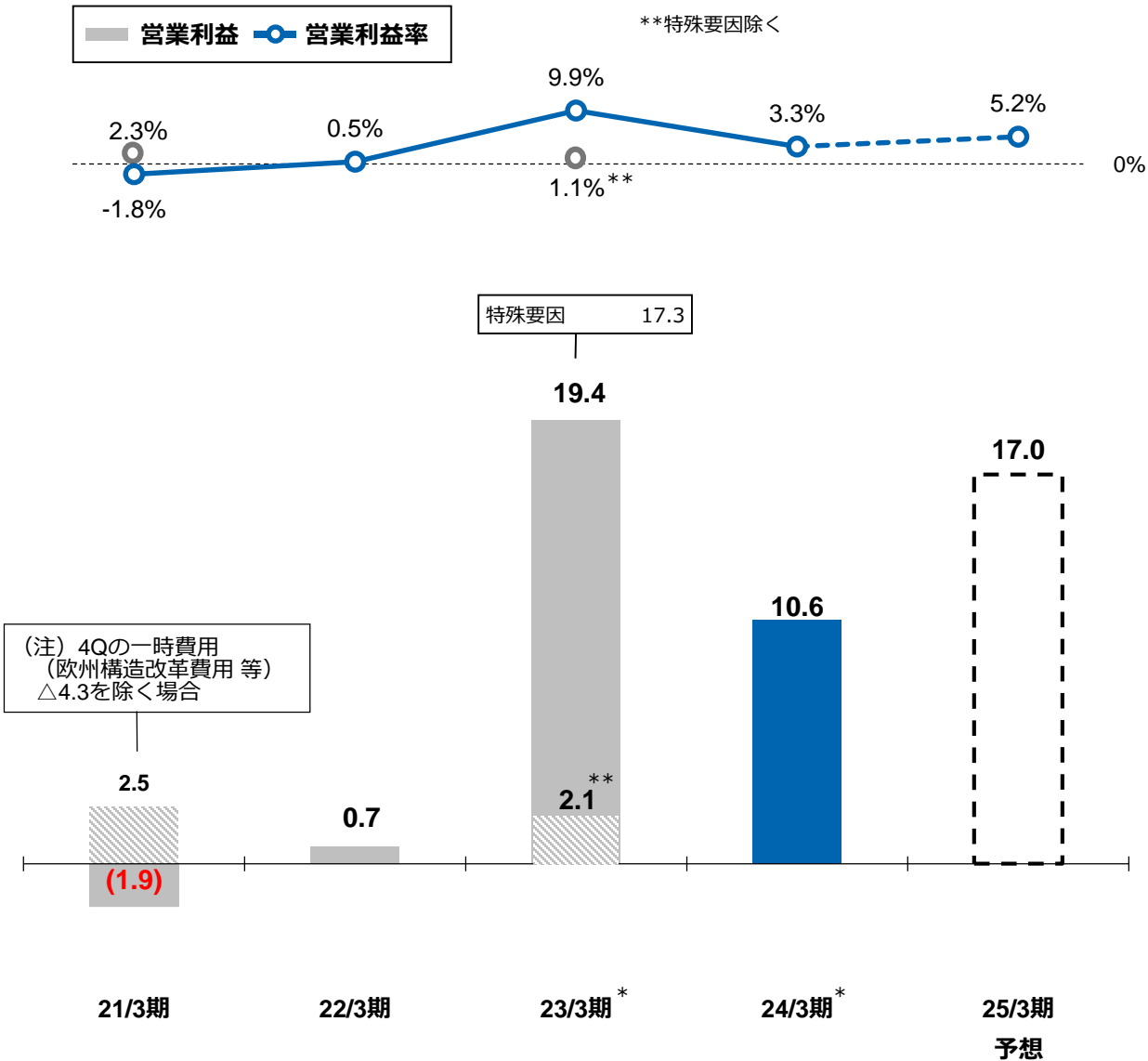
*本多通信工業・ミネベアコネク트의PPA評価完了に伴い、2024年3月期第2四半期以前の営業利益を遡及修正
**特殊要因除く

アクセスソリューションズ セグメント (AS)

売上高 (10億円)



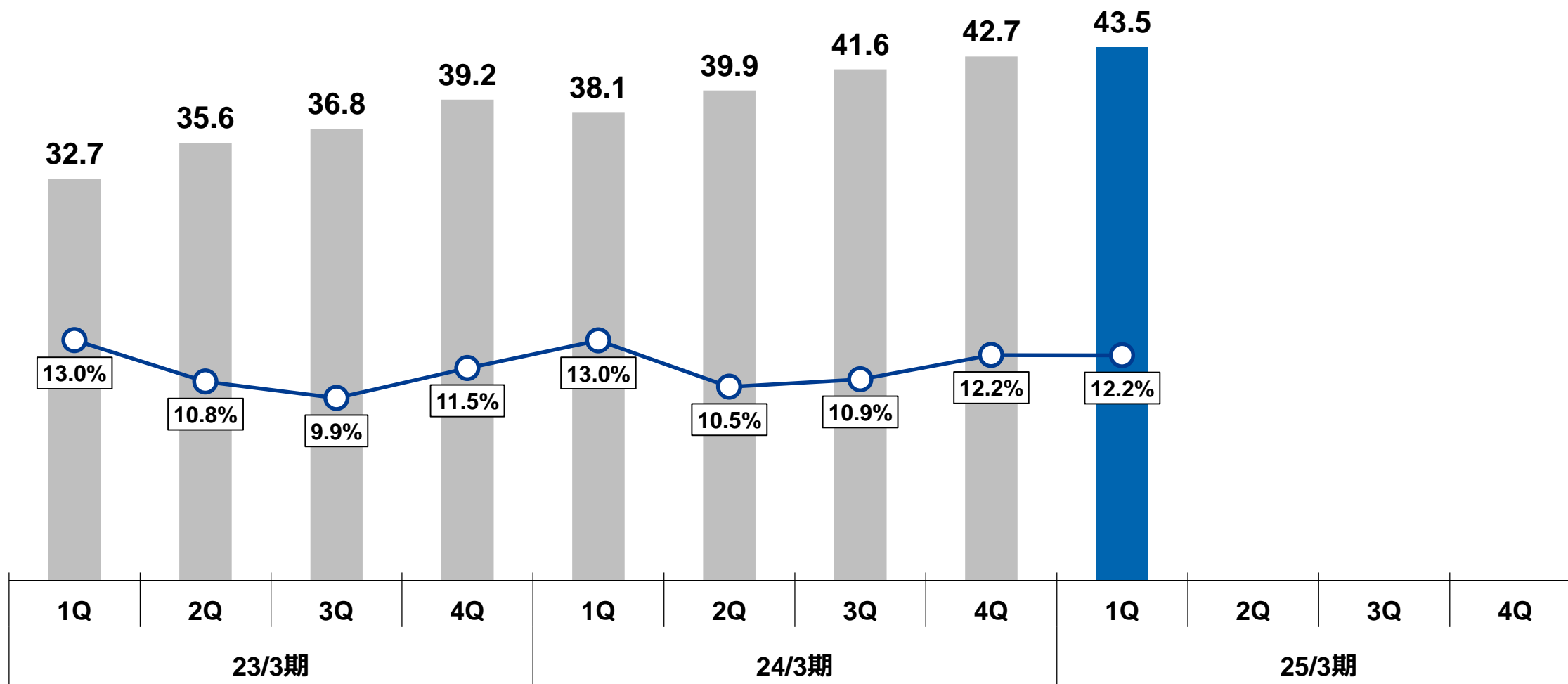
営業利益 (10億円)



販管費

(10億円)

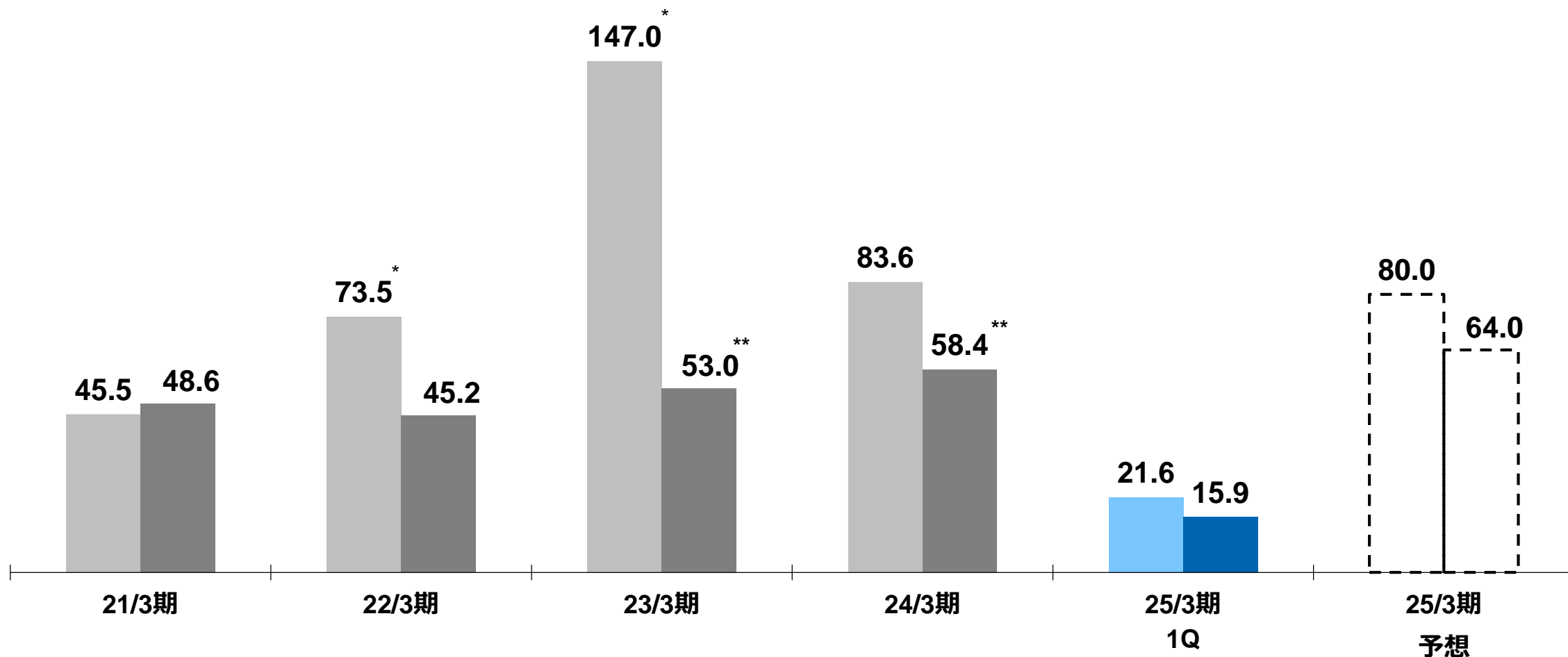
■ 販管費 ● 売上高販管費比率



設備投資額・減価償却費

(10億円)

■ 設備投資額 ■ 減価償却費



*22/3期、23/3期の設備投資額には、新本部ビル取得費用が含まれています。

**本多通信工業・ミネベアコネクト・ミネベア アクセソソリューションズのPPA評価完了に伴い、2024年3月期第3四半期以前の数値を遡及修正。

ROIC (投下資本利益率)

ミネベアミツミ版
ROIC

$$\text{ROIC} = \frac{\text{NOPAT (営業利益+特別損益)} \times (1 - \text{税率})}{\text{投下資本 (受取手形+売掛金+棚卸資産+固定資産 - 支払手形+買掛金)}}$$

セグメント別で管理できる事業資産（売上債権・債務、棚卸資産、固定資産）で算出

